

民報 藤島

2018年10月21日

第1172号

編集発行
日本共産党藤島支部

生活相談所
加藤鉦一（宝徳）
Tel.0235-64-3941
携帯090-8929-4221
HPは「藤島 加藤鉦一」と検索で入力。

発行経費にカンパをお願いしています。民報配布者にご連絡下さい（月177円程度）
10月 28人 16,286円
9月 39人 25,313円

「聖域化」された補助金見直し必至 バイオベンチャーのタイ進出？

慶應義塾大学先端生命科学研究所が平成30年4月27日に鶴岡市長に提出した研究教育事業の「平成29年度補助事業等実績報告書」では、収支計算書は1枚のみで概算だけです。市と県の7億円の補助金のうち、実験機器購入に1億1663万円が、バイオベンチャーのタイ進出に1億3834万円です。委託費のうち、研究所員や秘書の派遣業務料に7518万円が、研究活動費に5億7292万円、旅費に1045万円が支出されています。うち、支出の多い項目は委託費が2億1888万円、人件費が1億3834万円です。県議会9月定例会の27日に、代表質問で野川政文議員が慶應先端研を取り上げ、10月4日の予算特別委員会、田澤伸一議員がバイオベンチャーの生産工場タイ進出を取り上げたこと、で、「聖域化」された補助金の見直しは必至です。

収入	区分		収入内訳	
	金額	円	金額	円
総額	700,010,603		市補助金	350,000,000
			県補助金	350,000,000
			その他	10,603
支出	区分		概算の内容	
	金額	円	金額	円
1. 施設設備費	116,634,940		設備工事	116,634,940
2. 研究活動費	572,919,559		実験機器購入	60,991,365
			消耗品費	58,310,151
			一般消耗品	1,198,812
			特任教員個人研究費枠	1,482,402
			印刷・コピー代	17,689,697
			教育研究活動費	3,296,358
			バイオキャンプ	992,528
			サマーバイオカレッジ	420,530
			スプリングサイエンスキャンプ	12,980,281
			その他研究関連謝金等	218,884,991
			委託費	75,183,755
			派遣業務料(研究所員・研究所秘書)	90,335,756
			委託保守契約	53,365,480
			その他委託費用	40,455,230
			賃借料	13,789,221
			研究用機械リース料	1,204,365
			コピー機リース料	25,461,644
			その他賃借料	1,488,489
			図書資料費	928,503
			オンラインジャーナル購入	559,986
			その他図書購入費・論文印刷費	64,591,496
			光熱水料	811,726
			水道	39,494,566
			電気	24,285,204
			ガス(含むGHP)	1,372,954
			通信費	96,418
			郵便費	620,382
			電話料金	656,154
			運搬費	18,932,677
			修繕保守費	1,890,436
			機器修理保守費用	1,601,436
			学会運営費	289,000
			高校生バイオサミット	138,343,063
			その他学会費	8,279,161
			人件費	2,325,877
			人件費	621,822
			支払手数料	1,210,301
			英文校正料金	718,211
			講演等謝金	3,402,950
			会費	
			その他	
3. 旅費	10,456,104		国内旅費	8,697,356
			国外旅費	1,758,748
支出合計	700,010,603			

感懐

清時有力は無能
賢小宰相大志崩
自古治人在誠信
不知経国只憑朋

感懐

清時有力有るは是無能
賢小なる宰相大志崩れる
古自人を治めるは誠信に在り
経国するを知らず只朋に憑なり

城貞（藤の花）

平和な時代は、無能（才能のない）な者ほど力がある人物として、あまりにすぐれていない（今の）首相、かねてからの大望である（改憲）はできないであろう

昔から、世の中を治め導く秘訣は、まごころがあつてうそをつかないことである。ただ友達（閣僚）をよりどころにしているのだ

「絵を描く」 釣りの魅力

加藤貞雄（山王町／上平形出身）

10月初旬、ある日の早朝、遠出の途中に庄内海岸を車で通った時だ。海に突き出た岩という岩に太公望たちが釣竿を伸ばして立っている姿の多いのに驚いた。

今は釣りから離れてしばらく経つ私だが、以前はずいぶん海釣りに夢中になった。車には年中釣り道具と絵の用具をつけていた。海岸の風景を描きに向向いても、釣りの誘惑に負けて終日釣りで過ごして帰って来たことも何度あった。

今泉海岸から油戸、由良にかけての海岸は、私にとつて海の絵を描く馴染みの所であり、絶好の釣り場でもある。片手に釣り竿を、他方の肩にクーラーを掛けて荒磯を渡り歩いた。釣りの魅力は何だろ

うか。ググツ！ときた瞬間の快感と緊張感ではないか。アジなどの小物でも結構引きが強い。それがクロダイなら竿がぐつと揺る。この魅力に憑かれたら釣りはもう止められない。釣った魚の大きさに自慢話が広がる。端から見ると岩に腰を降ろして海を眺めている姿は、いかにも暇人のように見えるだろうが、とんでもない。竿の先、ウキの瞬の動きも見逃すまいと真剣そのもの、昼飯をとる暇もないほど忙しい。その無心の集中力と緊張感、そして待つ心、これも釣りに引き付けられる魅力の一つではないか。

砂浜から数十メートルも遠くまでの投げ釣りも痛快だ。ゆつくりとリールを引いていると、コトツと手応えがある。キスカそれともヒラメか、と期待感が膨らむ。

釣りは魚との心理戦争だ。アタリがくるのをじつと待つ。アジには勝てるが、ウマズラには負け戦ばかりだ。餌はオキアミかイソメ。海水を汚さないようにコマセは一切使わない。マキ餌も出来るだけ控えている。釣果は乏しいがそれでも釣りは楽しい。

※絵は釣りに夢中の人



中山道テクテク1人旅 27 彦根藩の「恩と仇返し」② 新町 齋藤留治

記憶はハッキリしないが、福島県内で開かれたある会合の酒席で、会津若松から参加された方と隣り合わせになった。

話は戊辰戦争で多くの犠牲者を出した会津人の思いに及んだ。

会津藩は官軍（どちらが官軍か賊軍かは立場で違つ。）に恭順の意思を示したのに無視され、悲惨な目にあわされた恨みは百余年経っても消えないという。

幕末の二本松や会津藩の人達は、長州軍等によつて打ちのめされた揚句のはて、会津藩は不毛の地であつた今の青森県下北半島へ国替え（斗南藩）になり、餓死者を出すほどの辛酸をなめさせられている。

長州軍を主流とした会津討伐軍の軍律は無きに等しく、戦いに倒れた会津の人達の埋葬を禁じての野ざらし、火付け、婦女暴行等の数々の残虐行為は、「義」に生きる会津武士の心を踏みにじり、許せない事でもあつた。（庄内も会津のようにやられ



たら、薩摩と交流をする気なんてならない。戦争で日本軍の犠牲になつた韓国や中国の人達も同じでは。）

因縁忘れ難く、会津若松市と山口県萩市との間で、友好都市の盟約を結ぶ話しは、会津側から丁重にお断りをしていくそつだ。

（萩市議会では盟約議案を可決？

長州出身で権力志向に溢れるアベ晋三氏の顔を見ると、私も嫌悪感で溢れる。）

話は変わつて、徳川の恩義を忘れた幕末の彦根藩の徳川への「仇返し」行為とは、鳥羽

伏見の戦いで幕軍が形勢不利と見るや、徳川慶喜に見切りをつけて薩長軍に従い、会津を攻めたり、脱藩水戸藩士によつて結成された天狗党の人々の首をはねたり、新撰組の大將近藤勇を捕まえたり（手柄かもしれないが）した事は、後の世の人達に藩の汚名と言われても仕方が無い過ちでもあつたよつだ。

機知に富んだと言われる徳川慶喜でも、頼りの彦根藩に仇返しされては、最早手の打ちようが無かつたのかもしれない。

こんな歴史を見てきた彦根の城を後にして、琵琶湖畔を京都に向けてテクテク歩いて行つた。



だまされては遺憾！ —アジア・太平洋戦争② 餓死した英霊 青山 崇

政府は、戦死者を「英霊」と褒めたたえている。

今年の戦没者追悼式で、安倍首相も英霊の尊い犠牲の上に今日の繁栄があると挨拶していた。

しかし「英霊」の死

の実相はどうだったのだろうか。

前号に書いたようにこの戦争の軍人・軍属の死者は230万人、このうち餓死者がなんと140万人、61%という研究がある。いや37%だという研究者も

いる。

しかし、両者とも内外の戦で制空・海権を失つて補給が絶たれ、深刻な食糧不足に陥つたからであると言っている。

栄養失調で40度の高熱が続くマラリアに感染し、体力が消耗してゐるのに食糧がなく、極度の栄養失調になり、薬も食事も受けつけない状態になって死んでゆく。

ある軍医は、このような状態を戦争栄養失調症といい、「生ける屍



正念場は活かせ

菅官房長官が言ったんだ。今が「正念場だ」と。文大統領が金委員長から聞いてきた「日本とも話し合う用意がある。それには拉致問題が含まれる」ということへの反応だ。

▲みなさん、去年の五輪の始まる前を思い出して下さいな。日本は北朝鮮をなんて言っていましたか。ま・確かにトランプ大統領には、拉致問題を被害者家族会も安倍首相も話を繋げてもらうよう頼んではいましたが、それが正念場の言い方にはピッタリというところ。

▲なにせ、先月まで「圧力の強化」を官房長官も言っていたんだぜ。それがあつたからこそなつたんだ・なんて聞き直られるかもしれないが、担当大臣として何をしてきたのかは知らされていないネー。

の如くなり、ついには口ウソクの「火が消えるが如く鬼籍に入る」と記している。

軍高官も「戦力がマラリアのために、戦力が4分の1に落ちてしまった。いくら増兵してもマラリア患者を作るようなもの」と嘆いている。

このような状況は、「将兵を飢餓に陥らしめるが如き事は」と天皇の耳にも入つていたほどで、全く異常な中での無謀な戦争だったのである。

▲外務大臣は、米朝の間が調子いいからと米韓が軍事演習を中止するといふのに、中止するのはおかしいと口を挿んで世界中からヒンシユクをかつたんだ。しかもこの人、北欧まで行つても圧力の強化を語っていたんだ。

▲だから俺は気の毒だなーと思つていたんだ。機会あることに行つてきた被害者家族会の待つ「一日も早い再会」に、政府は他人には頼んでおきながら、圧力だけでいいの。ましてや、子供らの修学旅行の土産まで取り上げては、絶対いい方向には進まない・とネ。しかし、正念場と語つて家族会を喜ばせてから、どんな行動をした？

▲韓国を中に米朝の戦争が終結すれば、北朝鮮の「脅威」を語つて軍備の強化をする必要が無くなるんだから、大統領の押し売り、断れや。んな安倍さんや。

(石川)